



コラボラ講演会

地頭所孝子先生

「子どもの身体と心のしくみを知る」

2010年11月9日(火)

現・大阪発達総合療育センターに16年間、言語療法士として勤務、現在、育ち合い研究所を主宰する地頭所先生は発達相談等に幅広く活躍中です。

「『子どもの成長過程に伴走する者』でありたい」と言われる先生のお話は、とてもわかりやすいものでした。ものごとを教え込むのではなく、しっかりと体験するエピソード記憶を豊かにすることや子どもの年齢に応じて関わりを考えることがとても大事とのこと。たとえば「早寝早起き朝ごはん」というのは、動物的な力をしっかり使えるように脳幹を鍛え、その上にある情報整理をする大脳辺縁系を鍛える土台となるもの。脳が使い物になるのには10年かかるそうです。大人は、子どものこころと身体のしくみを知って「待つ」ことができるようにならないといけないなあと思いました。



参加者感想

- 3歳の子どもがいます。最近少し子育てに疲れていました。今日お話を聞いて、子どもと楽しめながらいっしょに成長できそうです。エピソード記憶、たくさん作っていきたいです。
- 親(大人)が子どもの目線に合わせて育児をすると大変なことでも楽しめる気がしました。
- とても楽しませていただいてあっという間の2時間でした。現在2歳の反抗期&赤ちゃんがえりの娘を育てていますが、スマートに問題なくやっていくことが良い育児だと思っていました。でも、子どもの反応を楽しみながら、「あーでもない、こーでもない」と悩みながら、過程を大切に過ごしていけばよいのだと思えました。子どもは弱者であることを肝に銘じてフェアにやっていけるよう心がけたいと思います。



廣渡ゼミのみなさんと遊びのワークショップ

2010年12月1日

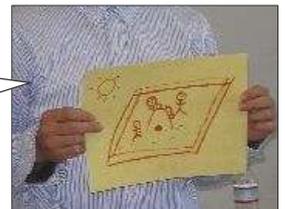
今年度、廣渡ゼミの学生さんたちがコラボラキャンパスネットワーク活動に参画してくださっています。コラボラが実行委員会をつくって運営している「小倉南区親子ふれあいルーム・さざん」のアンケート解析もバックアップしてくれている頼もしい存在！そこで、子育て支援の現状と背景を学ぶワークショップをしました。



- 子どもの頃、一番好きだった遊びは？
- 遊んでいる時、どんな気持ちだった？
- 子育てをしてる時に、みんなのおかあさんやおとうさんが大変だったことは何だろう…？

少し照れながら、互いの子どもの頃を紹介しあい、今の子育て環境のことを考えました。

こんな遊び
してました～
(砂遊び)



学生さんの感想

- 遊びの振り返りをしてみて、あの頃の事を久しぶりに思い出した。昔のこと思い出すと、自分が今あつという間に19歳になっている事に驚いた。
- 今の子どもたちも、私たちが子どもだった時のように、自然とふれあいながら、体感して、成育していけるような環境を作ることが大切だ。
- 小さい頃って、本当に1つのものに集中して、夢中になっていたんだ、と思いました。記憶は薄いけど、それだけ心から楽しんでた、ということは覚えていたので不思議だな、と思いました。今日は本当に楽しかったです。
- 今日は今まであまり考えないことを考えました。すごく楽しくて、3時間があっという間でした。

『コラボラキャンパスネットワーク』とは？

2006年1月から北九州市立大学で、「北九州市立大学」「乳幼児子育てネットワーク・ひまわり」「NPO 法人北九州子育て・親育ちエンパワメントセンターBee」「高齢社会をよくする北九州女性の会」「NPO法人GGPジェンダー・地球市民企画」の5団体が協働し、個性を活かし合いながら多世代交流・地域づくりに関する事業を行っています。

活動ファイル

高齢社会をよくする北九州女性の会

◆◇観月会◆◇

2010年10月22日(金)

北九大キャンパス芝生ひろばでの開催も5回目となった観月会。曇り空でしたが、「お月様が見たい!」と心待ちにするみんなの願いが届いたのか、雲間から時折まあるいお月様が顔を出してくれました。



恒例のグランマ手作りのお団子やお芋を食べながら、スタードーム・大道芸・キーボードやリコーダーの生演奏・北九大吹奏楽部のアンサンブル・黒原本町地区の皆さんによる「能行口説き」(小倉に伝わる盆踊り)…とパフォーマンスを楽しみ、大いに盛り上がりました。

さらに今年は、基盤教育センターの中尾先生が天体望遠鏡を準備下さったので、夜空のムコウにある宇宙との距離もぐっと近づいたひとときでした。

◆◇新年のつどい◆◇ 2011年1月19日(水)

新年初ハロハロカフェの日。大人44人、子ども32人、学生11人、計87人が参加し、お餅つきや日本の伝統的なお正月遊びを楽しみました。

食べごろに育ったコラボ菜園の大根や野菜を収穫し、グランマさんに作り方を聞きながら採れたて野菜でサラダや豚汁、お焼きを調理。つきたてお餅もあつという間に完食でした。みんなで作って食べるっておいしいですよ!

午後からは芝生広場で凧揚げや羽根つきにチャレンジ。学生さんが子ども達と走り回ってくれ、2歳児でも上手に凧揚げができました。肌寒い日でしたが、寒さを忘れて見守るママ達の笑顔が印象的でした。



観月会や新年の集いをきっかけに初めて大学に来られた方も多く、日ごろふれ合う機会の少ない方たちが自然な形で出会いつながり多世代で交流するよさを感じてもらえたようです。今後も日本の伝統的な季節の行事を通して、自然と生活の関わりや文化を伝えて行けたらと思っています。5月には、春夏の花や野菜の種まき苗植えをしますので、遊びに来て下さいね。詳しくはお問い合わせ下さい。



◆お問い合わせ 高齢社会をよくする北九州女性の会事務局 電話093-583-7604 携帯 09013422094

NPO法人 北九州子育て・親育ちエンパワメントセンターBee

◆◇プレイセンター・ハロハロの活動◆◇

●毎週月曜日はプレイセンター・ハロハロの活動日です。プレイセンターでは子どもも大人も楽しみながら、共に成長していくことを目指しています。「遊びは子どものしごと!」ということで…【0歳から6歳の子どもに「自分で選ぶ遊び」を通して学ぶ場を】【親に「子どもの遊び」や「センターの運営」についての学習機会】をつくっています。

●子どもはおかあさんといっしょにプレイセンターにやってきます。(もちろんおとうさんでもおばあちゃんでもいいのです)。そして、家にいるのと同じように、自由に探検しながら、いろいろな遊びにチャレンジしていきます。

子どもの<やりたい>ことを感じ、大人が力をあわせて遊び環境をつくっていく体験は、必ずその後の子育てに大切なものを得ることができると思っています。「子ども手当」の影響からか、乳幼児のお稽古ごとのチラシもよく見かけますが、プレイセンターは、「人のつながり」を育んでいくところ。たくさん大人のたくさん子どもたちと共に遊ぶ場をだいにしていきたいと思っています。



互いに絵本を読みあう子どもたち

コラボキャンパスネットワーク 実行委員会

◆◇小倉南区親子ふれあいルーム「さざん」◆◇

●コラボで実行委員会を立ち上げ、市の事業委託を受け、忙しくオープン準備をしたのがつい先日のようです。めでたく、2011年2月1日に一周年記念を迎えました。利用者は今年2月末までの13ヶ月で10,393人、一日平均で約40人の方に利用していただきました。来所される皆さんのあたたかいご協力で、楽しい子育ての居場所ができています。

スタッフが提供するばかりでなく「さざん」に来られる皆さんが、この「さざん」を作ってくれているのを本当に実感しています。

「さざん」に行けば楽しいことがあるよ、誰かと出会えるよ、子育てがもっと楽しくなるよ、という風に、これからも楽しいことたくさん盛りだくさんでいきたいと思っています。大人だけの利用(ボランティア)も大歓迎です。

♪どうぞ気軽に遊びに来てください。

副代表: 平原寿賀子

◆小倉南区若園5-1-5
小倉南生涯学習センター1F
093-922-5036



編集後記

★春がやってきました~!北九州市立大学も新入学生を迎える季節ですね。

コラボキャンパスネットワークの活動もフレッシュな出会いが広がる予感…みんなで楽しもう!

編集人M

